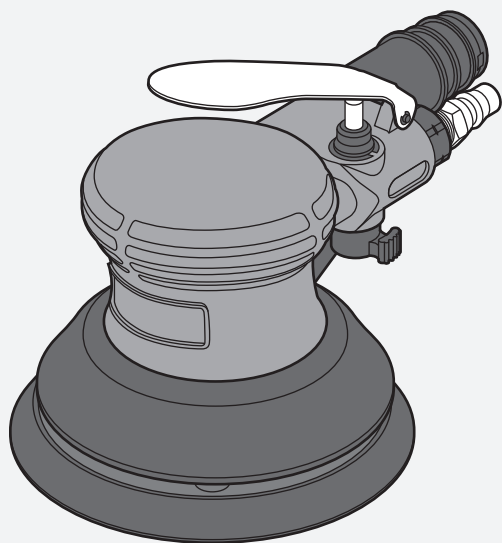


EARTH MAN

アースマンシリーズ

エアーポリッシャー& サンダー

ATL-130



取扱説明書

ご使用前に本紙最終ページ「保証書」を必ずお読みになり、内容をご確認・ご了承ください。

また、取扱説明書の内容を十分理解したうえで使用し、お手元に大切に保管してください。

目次

お使いになる前に	1
安全にお使いいただくために	
エアー工具を安全にお使いいただくために	
本製品を安全にお使いいただくために	
本製品について	7
用途	
各部の名称・セット内容	
仕様	
使用前の準備	8
使用前の準備	
プラグの取り付け	
給油について	
先端パーツの取り付け・取り外し	
エアーホースの接続	
使い方	12
操作方法	
作業方法	
お手入れ	15
ベースパッドの点検・交換	
保守・点検	
故障かな?と思ったら	
お買い上げの後に	18
別売品のご紹介	
保証書	

お使いになる前に

安全にお使いいただくために

- 必ず取扱説明書をよくお読みになり、正しくお使いください。取り扱いに不慣れな人や正しい操作のできない人はお使いにならないでください。
- 本製品を正しく安全にお使いいただき、ご自身や周囲に危険がおよぶ可能性を防止するために、下記のように『警告』・『注意』・『注』の3種に区分しています。いずれも安全に関する重要な内容ですので、必ず守ってお使いください。
- 『注意』に記載した事項でも状況によっては重大な結果に結びつく可能性があります。

 警告	人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容
 注意	人が傷害を負う可能性および物的損害の発生が想定される内容
 注	本製品や付属品の取り扱いなどに関する重要な注意事項

エアー工具を安全にお使いいただくために

警告

1. 作業場所はいつもきれいに保ってください。
 - 作業場所はいつも整理・整頓し、きれいに保ってください。また、作業の妨げになる物は取り除いてください。
2. 作業場の周囲状況も考慮してください。
 - 作業場は十分明るくしてください。
 - 濡れた所や湿気の多い所・雨中では使用しないでください。(故障の原因)
3. 揮発性可燃物やガスの近くで絶対に使用しないでください。
 - 本製品やエアーコンプレッサーを揮発性可燃物(シンナー・ガソリンなど)の近くで使用しないでください。空気と一緒に吸い込まれて圧縮され、爆発の危険があります。
4. 作業者以外を近づけないでください。
 - 特に小さなお子様は作業場や本製品に近づけないでください。
5. 作業に適した服装で作業してください。
 - 作業をするときは必ず保護メガネを着用してください。
 - 作業に適した服装(すそじまりの良い長袖・長ズボン)で作業してください。

だぶだぶの衣服やネックレスなどの装身具は回転部に巻き込まれる恐れがあるので着用しないでください。

- 軍手など巻き込まれる恐れのある素材の手袋は着用しないでください。
- 長い髪は帽子などで覆ってください。
- 粉じんなどが多く発生する作業では保護マスクを着用してください。

6. 防音保護具を着用してください。

- 作業をするときは、排気音や排気された空気から耳を守るため、作業環境に応じて防音保護具(耳栓など)を着用してください。

7. 損傷した部品がないか確認してください。

- 商品開封後は梱包内容を確認し、輸送による破損・ゆりみ・ひび割れなど本製品や付属品に異常がないことを確認してください。
- 使用前に必ず試運転を行い、本製品の破損・ゆがみ・異常音などがないことを確認してください。
- 本製品を誤って落としたりぶつけたときは、破損や亀裂がないことを確認してください。

8. エアーコンプレッサー以外の動力源は絶対に使用しないでください。

- 本製品はエアーコンプレッサーによる圧縮空気が動力源です。圧縮空気以外の高圧ガス(酸素・アセチレンなど)を使用すると、異常燃焼をおこし爆発の危険があります。
- 動力源は乾燥したきれいな圧縮空気を使用してください。

9. 必ずエアー用のホースを使用してください。

- 使用するホースは、必ずエアー用で内径φ6mm以上の物を使用してください。水道用・ガス用などのホースは破裂の恐れがありますので絶対に使用しないでください。

10. エアーホースを接続する前に下記の確認を必ず行ってください。

- 各部のネジがゆるんでいないこと。
- 各部の部品が外れたり、傷んでいないこと。
- サビつきなどで、正常に作動しない部品がないこと。
- エアーホースの劣化・破れ・金具のゆりみなどの異常がないこと。

11. 使用する前にエアーホースを接続し、下記の確認を必ず行ってください。

- エアーホースを接続しただけで作動音がしないこと。
- エアー漏れや異常音がしないこと。

12. エアーホースの脱着は吐出圧力がかかっていない状態で行ってください。

- 吐出圧力がかかった状態でエアーホースを脱着すると反動によりケガや事故の原因となります。
- エアーコンプレッサーの吐出圧力を0MPaに調整し、エアーホース内の圧縮空気を全て排出してから脱着してください。

お使いになる前に(続き)

13. エアーホースの取り扱いに注意してください。(ホース破損による事故の原因)

- エアーホースをつかんで本製品やエアーコンプレッサーを移動したり、吊り下げたりしないでください。
- エアーホースを無理に引っ張ったり、挟んだりしないでください。また、高熱の物・油や角のつがった所に近づけないでください。

14. 無理な使用をしないでください。

- 取扱説明書に記載されている用途、または能力以上の作業には使用しないでください。
- 足元の不安定な場所や無理な姿勢で使用しないでください。
- 本製品の運転は、振動・衝撃を伴います。長時間の連続使用は避け、休みながら作業してください。

15. 不意な始動はさけてください。

- エアーホースを接続する前に、スイッチが切れていることを確認してください。また、スイッチには触れないでください。
- 本製品を移動するとき・先端工具や付属品を交換するとき・点検・調整のときはエアーホースを取り外してください。
- 使用しないとき・作動すると危険な場合はエアーホースを取り外してください。

16. 材料側を動かして加工する場合を除き、加工物はしっかりと固定してください。

- 加工物・対象物は必要に応じてクランプや万力などで固定してください。手で加工物を保持するより安全で、両手でエアー工具を使用できます。

17. 本体作動部には触れないでください。

- 作動中回転部やその付近に手や身体、顔を近づけないでください。

18. 使用しないときはきちんと保管してください。

- 使用しないときは、直射日光のあたらない・風通しの良い・乾燥した所で、小さなお子様の手の届かない安全な所や、カギのかかる所にきちんと保管してください。

19. 分解・改造をしないでください。

- 本製品にはいかなる改造も加えないでください。

20. ご自分で修理しないでください。

- 故障・異常時はただちにエアーホースとの接続を外して使用を中止し、お買い上げの販売店にお申し付けください。または(株)高儀「お客様相談窓口」に相談してください。
- 修理の知識や技術のない方が修理すると事故やケガの原因となります。

この取扱説明書は大切に保管してください。

また、本製品を貸し出す場合は、この取扱説明書も一緒に渡してください。

注意

1. 圧縮空気には水分が混入する場合があります。

- 圧縮空気内の水分により、エアー工具内部にサビが発生し故障の原因となる場合があります。市販のエアーセットやエアーフィルターの併用をお勧めします。

2. 騒音に注意してください。

- 法令および各都道府県などの条例で定められた騒音防止規制を守り、周辺に迷惑をかけないように状況に応じて遮音壁を設けるなどして規制値以下で使用してください。

3. エアーコンプレッサーからの接続ホースを何本も分岐した配管では使用しないでください。

- 圧力降下により本製品の能力を十分に発揮できません。

4. 作業後の加工物に注意してください。

- 作業直後の加工物は熱くなっていることがあります。冷えるまで直接手肌に触れないでください。(ヤケドの原因)
- 作業直後の加工物には、かえりができていることがありますので注意してください。(ケガの原因)

5. こまめにお手入れしてください。

- 本製品は定期的に点検し、損傷している場合は、お買い上げの販売店に修理をお申しつけください。または(株)高儀「お客様相談窓口」に相談してください。
- 汚れの著しい場合は、薄めた中性洗剤を使用して水拭きしてください。その後、乾いた布で水分が残らないように拭き取ってください。
- ワックス・アルコール類・シンナー・ベンジンなどは使用しないでください。(故障・破損の原因)

6. その他

- 常温(0~40℃)で使用してください。
- 火のそばや閉め切った車内・直射日光のあたる場所・高温になる場所には、放置・保管しないでください。変形・変色・劣化の恐れがあります。
- 低温ではシール材が収縮して空気が漏れる場合がありますので、常温で保管してください。

お使いになる前に(続き)

本製品を安全にお使いいただくために

警告

1. 使用空気圧を必ず守ってください。
 - 本製品の使用空気圧の範囲は0.6MPaです。0.6MPaを超える圧力で使用すると事故・故障・寿命低下の原因となります。
2. 取扱説明書に記載されている用途以外の作業に使用しないでください。
 - 強く押し付けて回転が止まるような使用はしないでください。無理な使用は本製品・加工面を損傷させる恐れがあります。
3. 使用前に必ず人のいない方向に向け、無負荷で1分以上試運転を行い本製品に不具合がないことを確認してください。
 - 特に初めて使用するときは3分以上の試運転を行ってください。
4. 加工物に釘などの異物がないことを作業前に確認してください。(ケガ・破損の原因)
5. 使用中は本体を確実に保持してください。
6. あまりにも小さな物の加工は危険ですのでしないでください。また、加工する物はクランプ・バイスなどでしっかり固定してください。
7. 石綿が含まれている材料への研磨作業は行わないでください。健康に悪影響があります。
8. 先端パーツを交換するときは、必ずスイッチを切りエアースホースを外してください。
9. 水・オイル・研削液などは使用しないでください。(ケガの原因)

注意

1. 先端パーツや付属品は取扱説明書に従って確実に取り付けてください。
2. スwitchの操作は、作動部が身体に触れた状態や加工物・作業台の上に置いた状態ではしないでください。(ケガ・加工物破損の原因)
3. 先端パーツの全面が加工物へ均等にあたるように作業してください。

4. ゴミ・砂・汚れ・古いワックスなどが付着していたり、変形・摩耗やひび割れ・キズのあるパッドは使用しないでください。(ケガ・破損の原因)
5. 先端パーツ・作業面にほこり・ゴミ・鉄粉が残っているとキズがつく恐れがありますので注意してください。
6. 液体ワックスなど回転により飛び散る物は使用しないでください。また使用するワックスなどの使用方法・注意事項をよく読み正しく使用してください。
7. 市販されているワックスの中には溶剤などを含み、本体や先端パーツに悪影響を与える物があります。使用する前にワックスの成分をよく確認して正しく使用してください。
8. 本製品を水洗いしないでください。
9. 使用状況・操作方法により加工面にキズをつける恐れがありますので注意してください。作業前に加工面と同様の物で試し加工してキズやムラが発生しないことを確認してください。
 - ポリッシング作業は適切なワックスなどを使用しないで作業した場合、効果が得られず加工面の種類や条件によってはキズをつける恐れがありますので注意してください。



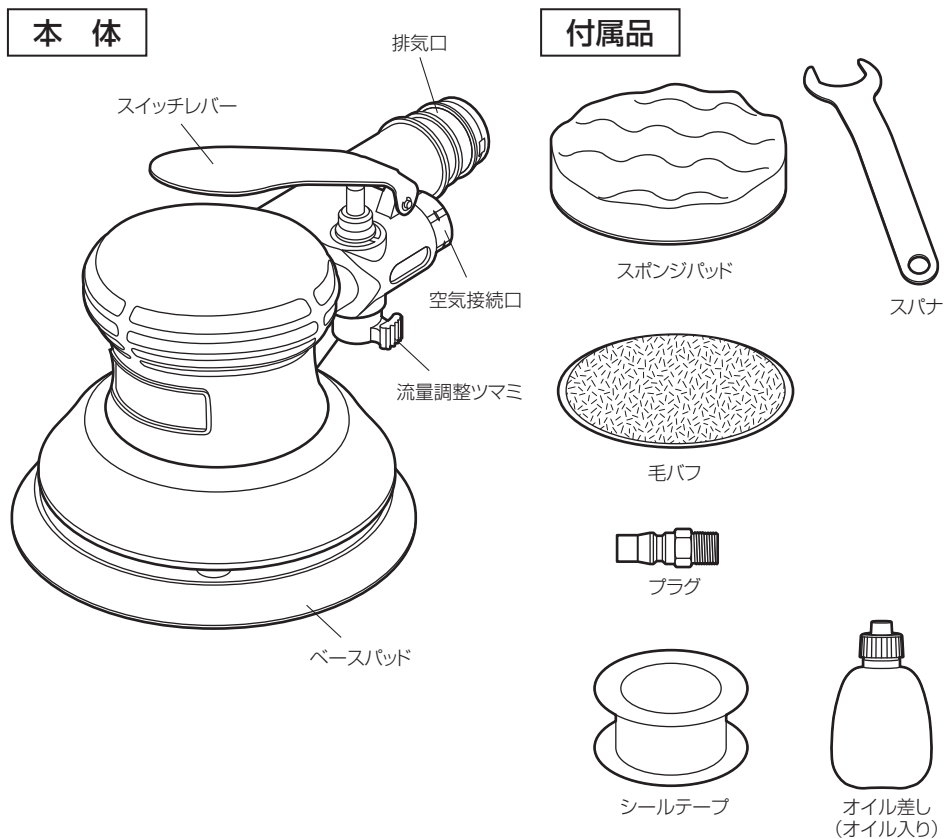
1. 本体に供給される圧縮空気の圧力が下がると、回転力も弱まります。
 - 作業に十分な回転力が得られない場合は、エアーコンプレッサーの加圧が終わるまで作業を休止してください。
2. 使用するときは必ず1日に2回以上、給油してください。
 - 給油が不十分だと圧縮空気に含まれる水分により、本製品内部にサビが発生し故障の原因となります。
3. 本製品は真円回転ではなく、精円回転をする物です。強く押さえこまずに作業を行ってください。
 - 単純な回転運動ではないため、作業時の振動が若干大きくなりますが異常ではありません。

本製品について

用途

- ◆ワックスかけ・表面研磨・ツヤ出しなどに
- ◆別売サンディングペーパーなどを取り付けて、塗膜はがし・下地研磨などに

各部の名称・セット内容



仕様

使用空気圧	0.6MPa(6.12kgf/cm ²)	ベースパッドサイズ	φ約125mm
使用エアースホース内径	φ6mm以上	空気接続口ネジ径	Rc1/4(PT1/4)
空気消費量	約103 L/min	付属プラグネジ径	R1/4(PT1/4)
回転数	～約10,000min ⁻¹	本体サイズ	約長さ200×幅125×高さ108(mm)
オービット径(偏心量)	約5mm	質量(本体のみ)	約0.8kg

※商品改良のため、仕様・外観は予告なしに変更することがありますので、あらかじめご了承ください。

使用前の準備

使用前の準備

1. 使用するエアークOMPRESSORは下記の能力以上の物で、タンク付の物を準備してください。本製品は使用時に多量の圧縮空気を消費します。使用するエアークOMPRESSORの出力・吐出量およびタンク容量が大きいほど連続して作業可能な時間が延びます。

また、市販の補助タンクを接続するとよりスムーズに作業できます。

注

- 使用するエアークOMPRESSORの能力によっては、本製品の能力を十分に発揮できない場合があります。下記の能力以上のエアークOMPRESSORの使用をおすすめします。

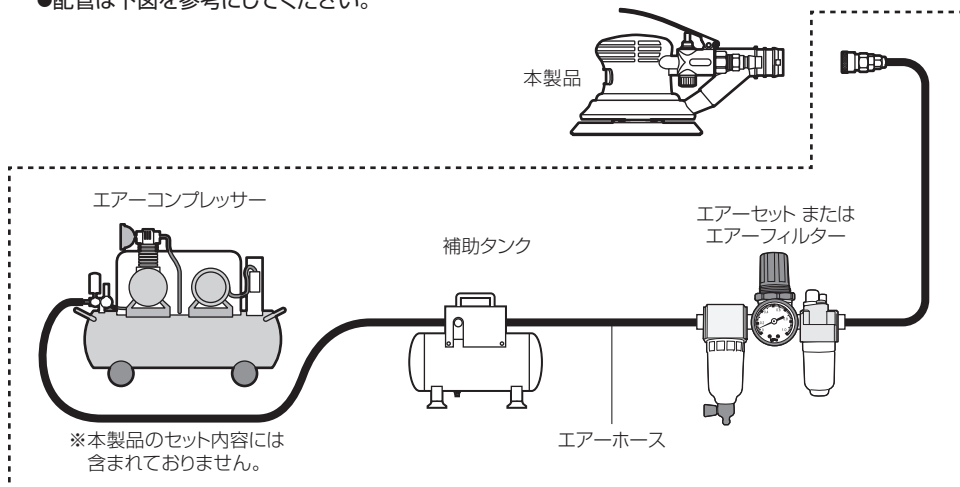
モーター出力	吐出圧力	吐出量	タンク容量(目安)
2,250W(3馬力)以上	0.6MPa(6.12kgf/cm ²)	103L/min	80L

※連続使用は圧力降下を生じ、本来の能力を維持できません。

2. 接続に使用するホースは、エアーク用で内径φ6mm以上、長さ30m以内にしてください。

3. 市販のエアークセット(フィルター・レギュレーター・オイル)やエアークフィルターの併用をおすすめします。

- 機体の寿命向上・性能維持に効果があります。
- 配管は下図を参考にしてください。



4. エアークOMPRESSORのタンク・補助タンク・エアークフィルターやエアークセットの水抜きをしてください。

- エアークOMPRESSORのタンクなどに水がたまると、故障・性能低下の原因になります。定期的に水抜きをしてください。

使用前の準備(続き)

プラグの取り付け

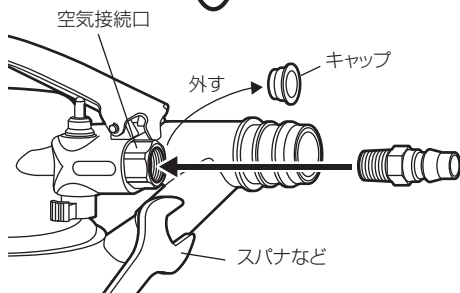
※プラグの取り付けには14mmスパナなどが必要です。セット内容には含まれておりませんので、お手持ちの物を使用してください。

1.プラグのネジ部に、付属シールテープを時計回りに強く巻いてください。2~3周巻いたら、シールテープを軽く押し付けネジ山になじませます。



※シールテープがプラグ内部の穴にかからないように注意してください。

2.本体の空気接続口キャップを外し、プラグを接続口にしっかりと取り付けてください。

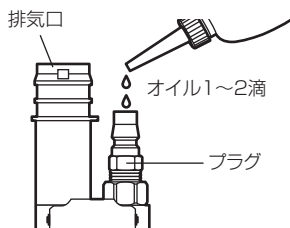


給油について

注

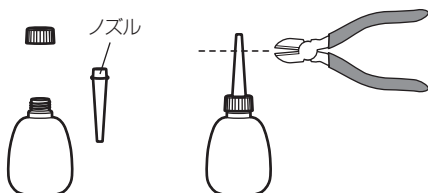
- 給油が不十分だと圧縮空気に含まれる水分により、本製品内部にサビが発生し故障の原因となります。
- オイルは付属の物を使用してください。その他のオイルを使用する場合は、市販のエアーツールオイル・タービンオイルを使用してください。また、混用はしないでください。
- オイルは過剰に給油すると作動不良の原因となりますので注意してください。

●使用するときは、必ず1日に2回以上給油してください。給油は作業の前後に1~2滴のオイルを本体のプラグから入れてください。作業後に給油したときは、2~3秒空回転させて、オイルを内部に行き渡らせてください。



※給油直後は、排気口から余分なオイルが吹き出す場合があります。排気口をウェスなどで覆ってから回転させてください。またウェスなどが回転部に巻き込まれないよう注意してください。

●オイル差しは内部のノズルを取り出し、先端を切り取って使用してください。



※このときオイルが飛散する場合があります。切り取る側も押さえて注意してください。

先端パーツの取り付け・取り外し

⚠ 警告

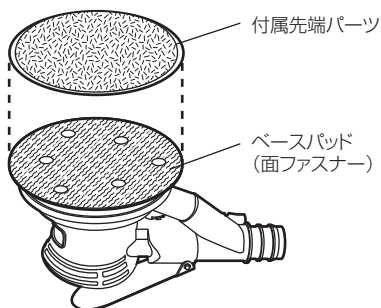
- 先端パーツを取り付け・取り外しするときは、エアーホースを取り外してエアーコンプレッサーとの接続を外してください。
- 先端パーツに異物の付着・破損などの異常がないことを確認してください。

⚠ 注意

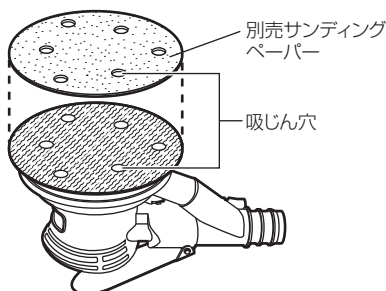
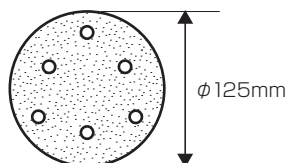
- 使用前に必ず安全な所で空転させ、面ファスナーの保持力を確認してください。
- ベースパッドの面ファスナー部にゴミ・ほりが付着している場合はきれいに取り除いてから先端パーツを取り付けてください。
- 先端パーツは消耗品です。表面が荒れたり、硬くなったら早めに新しい物へ交換してください。

- 付属先端パーツの裏面をベースパッドの面ファスナーに、すれないようしっかりと貼り合せてください。

※毛バフがずれて貼り合わさると面ファスナーの露出部分が作業面をキズつける恐れがあります。



- 別売φ125mmサンディングペーパーを取り付ける場合、ベースパッドと穴位置を合わせてください。



※別売サンディングペーパーについてはP.18を参照してください。

※市販のサンディングペーパーで吸じん穴の位置や大きさが本製品のベースパッド穴に合わない物は使用しないでください。また、穴なしのサンディングペーパーは吸じんはできませんが、使用しても問題ありません。

使用前の準備(続き)

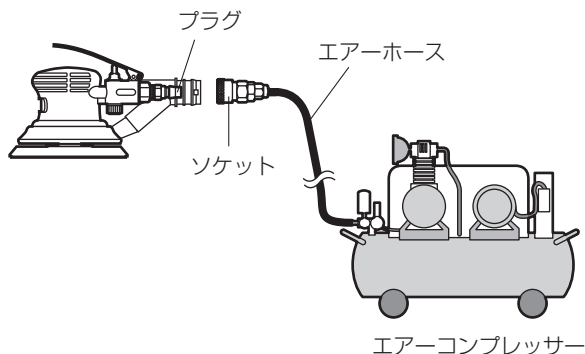
エアホースの接続

警告

- エアホースを脱着するときは、スイッチレバー・回転部に触れないでください。
- 圧力がかかったままエアホースを脱着すると、反動によりケガや事故の原因になります。脱着するときは使用するエアコンプレッサーの吐出圧力を0MPaに調整してください。

1. 本製品の内部にゴミやほこりが入らないように、プラグに付着しているゴミなどを拭き取ってください。

2. 本製品のプラグをエアコンプレッサーに接続されているエアホースのソケットにしっかりと差し込んでください。軽く引っ張っても抜けないことを確認してください。



※エアコンプレッサー・エアホースはセット内容に含まれておりません。

使い方

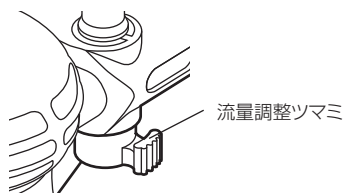
操作方法

回転数の調整

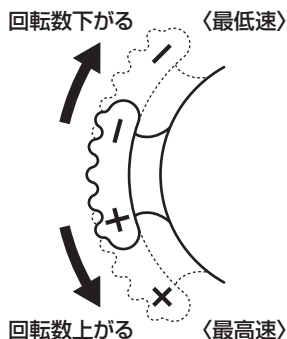
注

- 回転数を最低にして使用していると、極端に回転が遅くなったり回転しなくなる場合があります。この場合は、一旦流量調整ツマミを最高速にして2～3秒空回転させると正常に作動します。

- 流量調整ツマミを前後に動かすことで空気の量を調整し、回転速度を調整することができます。

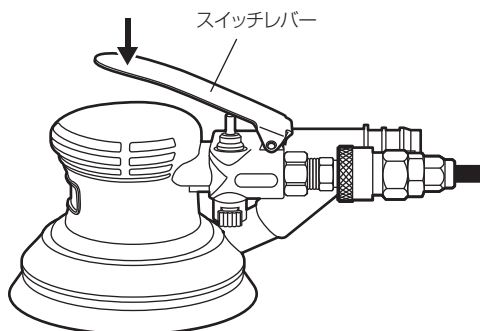


- ツマミに表示されている⊕方向へ動かすと回転数が上がり、⊖方向へ動かすと回転数が下がります。



スイッチ操作

- エアーコンプレッサーに接続し、スイッチレバーを押すと回転し、戻すと回転が止まります。また、レバーの押し加減で回転数を微調整することができます。



使い方(続き)

作業方法

⚠ 警告

- 作業をするときは必ず保護メガネを着用してください。また、粉じんが多く発生する作業では保護マスクを着用してください。
- 加工物に釘などの異物がないことを作業前に確認してください。(ケガ・破損の原因)
- あまりにも小さな物の加工は危険ですのでしないでください。また、加工する物はクランプ・バイスなどでしっかり固定してください。
- 水・オイル・研削液などは使用しないでください。(ケガの原因)
- 加工面にあてずに空転を続けると先端パーツがはがれて飛び出す恐れがあります。

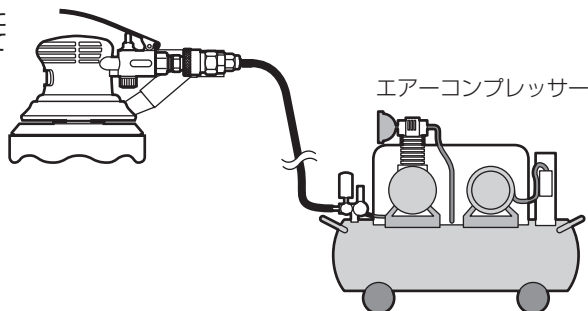
⚠ 注意

- 使用状況・操作方法により加工面にキズをつける恐れがありますので注意してください。作業前に加工面と同様の物で試し加工してキズやムラが発生しないことを確認してください。
- 先端パーツの全面が加工物へ均等に当たるように作業してください。先端パーツの一部や縁だけで作業を行うと加工物・先端パーツの破損や本体の故障の原因となります。
- 先端パーツ・作業面にほこり・ゴミ・鉄粉が残っているとキズがつく恐れがありますので注意してください。
- 液体ワックスなど回転により飛び散る物は使用しないでください。また使用するワックスなどの使用方法・注意事項をよく読み正しく使用してください。
- 先端パーツを加工面に必要以上に強く押し付けしないでください。(本体・先端パーツ寿命低下の原因)

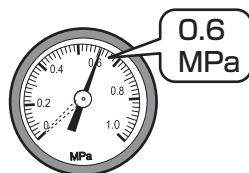
注

- 本製品は真円回転ではなく、楕円回転をする物です。強く押さえこまずに作業を行ってください。
- 単純な回転運動ではないため、作業時の振動が若干大きくなりますが異常ではありません。

- 1.作業に応じた先端パーツを取り付けた後、エアーコンプレッサーに接続してください。



2. エアーコンプレッサーの吐出圧力を上げ、0.6MPaに調整してください。

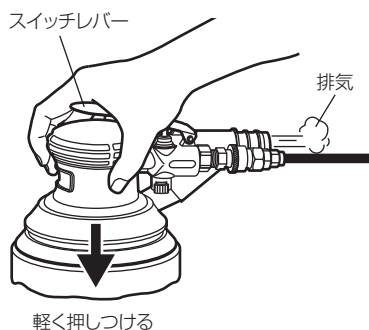


3. スイッチレバーを押すと回転します。作業面に応じて流量調整ツマミで回転数を調整してください。

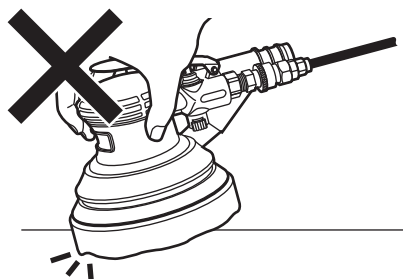
回転数が高過ぎると作業面をキズつける恐れがありますので注意してください。

4. 本体を軽く押しつけながら、ゆっくり前後左右に均等に動かして作業してください。

● 回転中は右図の方向に排気が出ます。排気が作業者や周囲の人に向かないよう注意してください。



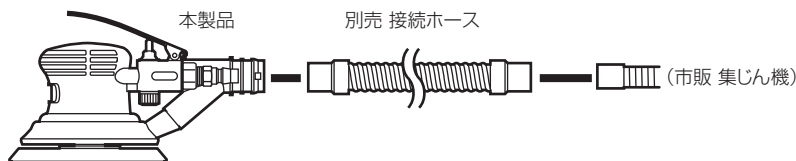
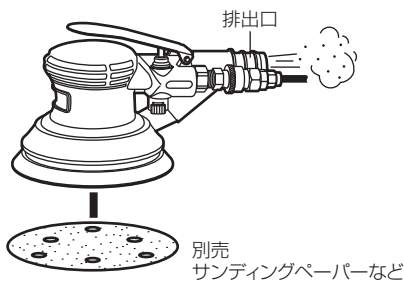
※ 本体を斜めに傾けて先端パーツの一部だけをあてて使用しないでください。作業面をキズつける恐れがあります。



● 別売サンディングペーパーなどを使用して粉じんが発生する作業を行った場合、排気には研削粉が混じる場合がありますので注意してください。

研削粉が多く発生する場合は、別売の接続ホースを取り付けて市販の集じん機に接続することで粉じんの飛散を防ぐことができます。

※ 別売接続ホースについてはP.18を参照してください。



⚠ 警告

- 本体各部の点検・部品の交換などをするときは、必ずエアーホースを取り外し、エアーコンプレッサーとの接続を外してください。

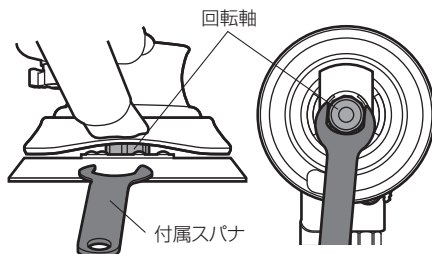
ベースパッドの点検・交換

サンディング作業など粉じんが発生する作業をした後は、下記の要領でベースパッドを取り外し、本体内部とベースパッドに付着した粉じんをきれいに取り除いてください。

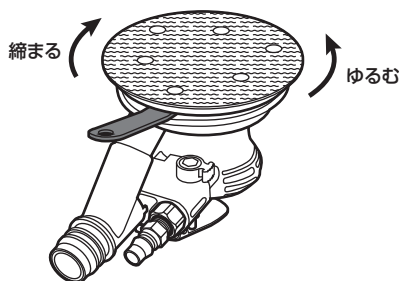
また、ベースパッドは消耗品です。ベースパッドの摩耗により先端パーツが付きにくくなった場合はベースパッドを交換してください。

ベースパッドのお買い求めは、本製品をお買い上げの販売店にてご注文をお願いします。

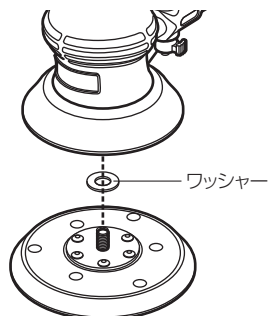
1. 本体後部の隙間から付属スパナを差し込み回転軸を固定してください。うまく固定できない場合はベースパッドを動かしながら固定できる位置に調整してください。



2. 回転軸が固定された状態でベースパッドを回して取り外します。
本体内部とベースパッドにゴミ・ほこりなどが付着している場合はきれいに取り除いてください。



3. ベースパッドを取り外しと逆の要領でしっかりと取り付けてください。



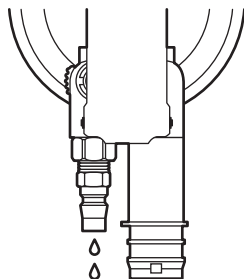
保守・点検

清 掃

- 本体のお手入れにワックス・アルコール類・シンナー・ベンジンなどは使用しないでください。
(破損・故障の原因)
- 油やグリースが付着した場合は、柔らかい布でから拭きしてください。
- 汚れの著しい場合は薄めた中性洗剤を使用して水拭きしてください。その後、乾いた布で水分が残らないように拭き取ってください。

作業後・保管

- 作業終了後は、オイルを給油して2～3秒空回転させてオイルを内部に行き渡らせてください。サビを防止するために必ず行ってください。
- 作業終了後は、エアーコンプレッサーの吐出圧力を0MPaに調整し、スイッチレバーを押してエアーホース内の圧縮空気を排出した後で、エアーホースを取り外してください。
- 作業後は、本体や先端パーツの汚れやほこりをきれいに取り除いてください。
- 使用後、取り外したスポンジパッド・毛バフは中性洗剤で軽く押し洗いをして風通しの良い日陰で乾燥させてください。
- 使用しないときはプラグを下にして十分水抜きをしてから、ゴミ・ほこりが入らないよう注意してください。
- 低温ではシール材が収縮して空気が漏れる場合がありますので、常温で保管してください。
- 使用しないときは、直射日光のあたらない・風通しの良い・乾燥した場所で、小さなお子様の手の届かない安全な所や、カギのかかる所にきちんと保管してください。



お手入れ(続き)

故障かな?と思ったら

警告

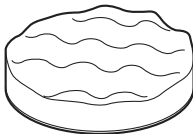
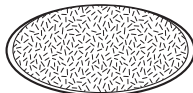
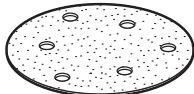
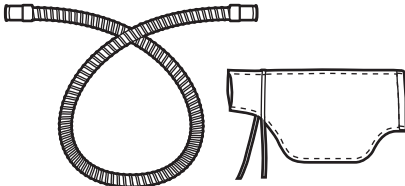
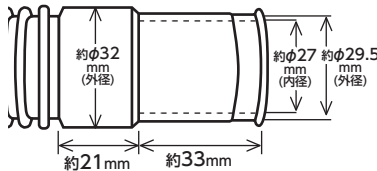
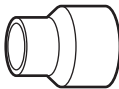
- 下記の対処で改善されない場合や、故障・異常時はただちにエアースーツとの接続を外して、お買い上げの販売店にお申しつけください。または、(株)高儀「お客様相談窓口」(ホームページ含む)に相談してください。

状 況	原 因	対 処 法
回転が遅い 回転しない	・エアースーツが外れている。	・エアースーツをしっかりと接続してください。
	・空気が漏れている。	・エアークOMPRESSORから本製品までの配管に空気漏れがないか確認してください。 漏れがある場合は、その箇所の部品交換やシールテープを巻くなど、空気が漏れないようにしてください。
	・エアークOMPRESSORの吐出圧力が低い	・エアークOMPRESSORの吐出圧力を0.6MPaに調整してください。
	・圧力が低下している。	・エアースーツの長さや太さが適正か確認してください。 また、1台のエアークOMPRESSORから何本も分岐させた配管で使用していないか確認してください。
	・エアークOMPRESSORのタンク内圧力が低下し、加圧の最中。	・加圧が終了するまで作業を休止してください。 ※頻繁に圧力不足になる場合は、エアークOMPRESSORの能力が本製品に適合していない場合があります。P8を参照してエアークOMPRESSORの能力を確認してください。 ※市販の補助タンクを接続すると、連続して作業可能な時間が延びます。
排気口から水が吹き出す。	・エアークOMPRESSORなどのタンク内に水がたまっている	・タンク内の水を捨ててください。また、サビ防止のため、オイルを給油してください。

お買い上げの後に

別売品のご紹介

●本製品をお買い上げの販売店にてお買い求めください。ご注文の際は、下記品名・JANコードをお伝えください。

品名		JANコード	
EARTH MAN エアーポリッシャー&サンダー ATL-130用 スポンジパッド φ125mm			
		4907052 378339	
EARTH MAN エアーポリッシャー&サンダー ATL-130用 毛バフ φ125mm			
		4907052 378346	
EARTH MAN エアーポリッシャー&サンダー ATL-130用 サンディングペーパー φ125mm		#80	4907052 378377
		#120	4907052 378384
		#240	4907052 378391
EARTH MAN 吸じんフレキシブル ホースセット			
		ホース長さ: 約1.9m	
 使用する集じん機に接続可能か十分確認の うえお買い求めください。		4907052 378438	
接続部の寸法   ※ 集じん機との 接続には必要 に応じて市販 のアダプター などを使用し てください。			

お買い上げの後に(続き)

保証書

販売店名・お買上げ年月日を証明できる物(販売証明書やレシートなど)が添付されていない場合、本書は**無効**となり、保証期間内であっても有料修理となります。必ずご確認ください。

- 保証期間内において取扱説明書などの注意書に従い、正常な使用・保管状態で故障した場合、本書により無償で修理致します。
- 保証期間内に故障して無償修理をお受けになる場合には、商品と本書に販売証明を付けた物をご持参のうえ、お買上げの販売店にご依頼ください。

品名		EM エアーポリッシャー&サンダー		お買上げ日	年	月	日
型式		ATL-130	JAN コード	4907052 378322	保証期間	お買上げ日より 6か月	
販売店					販売証明書や レシートなどを 添付してください。		

1. 保証内容は本製品自体の無償修理に限りです。
保証期間内におきましても、その他の保証はいたしかねます。
2. 保証期間内でも次の場合は有料となります。
 - 使用上の誤りおよび不当な修理・改造による故障および損傷。
 - お買上げ後の輸送・移動・落下などによる故障および損傷。
 - 火災・地震・水害・落雷・その他の天災・異常電圧による故障および損傷。
 - 家庭用以外(例:業務用の長時間使用、車輛・船舶への搭載など)に使用された場合の故障および損傷。
 - 本書の提示がない場合。
 - 本書に販売店名・お買上げ年月日を証明できる物が添付されていない場合、あるいは字を書き替えられた場合、個人販売など販売店が不明な場合。
3. 本書は付属品・消耗品には適用されません。
4. 本書は日本国内においてのみ有効です。 This warranty is valid only in Japan.
5. 本書は最初の購入にのみ適用され、以降の転売・譲渡には適用されません。
6. この保証書は、本書に明示した期間・条件のもとにおいて無償修理をお約束するものです。
従ってこの保証書によってお客様の法律上の権利を制限するものではありません。
7. 保証期間経過後の修理については、お買上げの販売店またはホームページからお問い合わせください。
 - 修理可能な場合は、お客様のご希望により有料で修理させていただきます。
8. 当社はこの製品の補修用性能部品を製造打ち切り後、基本5年間保有しています。※
性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。
※製造部品によっては5年間保有できない場合もあります。

保証規定

発売元



株式会社 高儀

株式会社 高儀 お客様相談窓口

TEL 0258-66-1233

受付時間 AM 9:00～PM 5:00 (土日祝日および弊社休日を除く)

※修理(見積り含む)・部品購入は、お買上げの販売店またはホームページからお問い合わせください。

ホームページ:

<http://www.takagi-plc.co.jp/>



■お客様相談窓口における個人情報の取り扱い

弊社は、お客様へのサービス提供のため、収集目的を通知したうえで必要な範囲の個人情報や相談内容を収集させていただき、その記録を残すことがありますが、個人情報を適切に管理し、修理業務などのサービスを行うために必要な範囲内で開示する場合や、正当な理由がある場合を除き、第三者に提供しません。